

栗東市 ケアマネジャーアンケート調査票

調査ご協力のお願い

日ごろから栗東市の福祉行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、本市では、高齢者保健福祉や介護保険サービスの充実に向けて、「第10期栗東市高齢者福祉計画、介護保険事業計画」の策定を進めております。

そのため、居宅介護支援事業所で勤務されているケアマネジャーの皆さまのご意見を幅広くお聞きし、「第10期栗東市高齢者福祉計画、介護保険事業計画」の策定に際しての基礎資料として活用させて頂きたいと考えております。前回は38人のケアマネジャーからご協力をいただきました。正確な分析のために、すべてのケアマネジャーからのご回答をお願いしています。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。なお、ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。

令和7年12月

栗東市 健康福祉部長寿福祉課

【ご記入に当たってのお願い】

1. 本調査については、栗東市内で要支援・要介護認定者のケアマネジメント（居宅介護支援事業）を担当されているケアマネジャーの方がご回答ください。（事業所内のすべてのケアマネジャーにご記入をお願いします。）
2. 回答は、令和7年12月1日現在の状況をご記入ください。
3. 回答については、該当番号に○をつけてください。（一部、必要事項を記入ください）
4. ご記入していただきました調査票は、令和7年12月26日（金）までに同封の返信封筒でご提出くださいか、FAX・メールにより返信、または直接下記までご持参くださいようお願いします。本調査票のデーターを望まれる場合は、下記のメールアドレスあてにメールをいただきましたら、送信いたします。
5. この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

栗東市健康福祉部長寿福祉課 介護保険係 TEL 077-551-0281

FAX 077-551-0548

メール choju@city.ritto.lg.jp

回答者ご自身について

問1 あなたの年齢をお答えください。 (○は1つ)

- | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|----------|
| 1. 20歳代 | 2. 30歳代 | 3. 40歳代 | 4. 50歳代 | 5. 60歳以上 |
|---------|---------|---------|---------|----------|

問2 ケアマネジャーとしての経験年数は何年ですか。 (○は1つ)

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上3年未満 | 3. 3年以上5年未満 |
| 4. 5年以上10年未満 | 5. 10年以上 | |

問3 ケアマネジャーの兼務状況について、あてはまるものはどちらですか。 (該当するものに○)

- | | |
|-------|--------------------------|
| 1. 常勤 | 2. 非常勤 |
| 1. 専任 | 2. 兼任 (兼任されている業務: _____) |

問4 あなたは主任ケアマネジャーですか。 (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

あなたが担当している利用者について

問5 あなたが担当している要介護度別の内訳人数をご記入ください。 (数字を記入)

	総合事業 対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
市内外含む利用者数	人	人	人	人	人	人	人	人	人

問6 問5のうち、在宅生活を送っている方で、施設入所の必要がある人の人数をご記入ください。 (数字を記入)

	総合事業 対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
在宅生活の難しい 利用者数	人	人	人	人	人	人	人	人	人

施設とは、「グループホーム」「特定施設」「介護老人保健施設」「療養型・介護医療院」「特別養護老人ホーム」

ケアプランについて

問7 あなたがケアプランを作成する際に、どなたに相談されますか。 (○はいくつでも可)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. サービス提供者 | 5. 市の介護保険担当者 |
| 2. 職場の同僚ケアマネジャー | 6. 主治医 |
| 3. 他事業所のケアマネジャー | 7. その他 (_____) |
| 4. 地域包括支援センターの担当者 | 8. 相談する人がいない |

問8 ケアプランを作成する上で、困ることはありますか。（○はいくつでも可）

1. アセスメント結果を容易にケアプランへ反映できないケースがある
2. ケアプランの短期、長期目標の設定が難しい
3. 介護サービス事業者の担当者との調整がスムーズにできないこと
4. 利用者本人と家族との意見が異なるとの調整に手間取ること
5. 家族の協力が得られないこと
6. 利用者本人、家族から必要以上にサービス提供を求められること
7. サービス提供体制が不十分で、利用者のニーズに対応できること
8. 事業所の経営を意識したケアプランになってしまうこと
9. 利用できるサービス量が要介護度より不足してしまうこと
10. 利用者負担でサービス利用が控えられてしまうこと
11. サービス担当者会議の体制が確立できていないこと
12. 認知症の利用者、医療行為が必要な利用者等へのケアプラン作成が難しい
13. 医療機関などとの連携がとれないこと
14. 介護給付適正化例外給付検討会の判断が厳しい
15. 介護給付適正化例外給付検討会の開催が限定されている
16. 介護保険外の情報が少ないこと
17. インフォーマルサービスに関する情報が少ないこと
18. 利用できるインフォーマルサービスが少ないこと
19. その他（ ）
20. 特になし

ケアマネジャー業務の負担について

問9 ケアプラン作成に関すること以外で、ケアマネジャー業務の中でどのようなことに負担を感じていますか。（○はいくつでも可）

1. 認定結果が出るのが遅い
2. 担当している利用者数が多く、ケアプランの作成が目一杯
3. 基準省令、基準条例の解釈が難しい
4. 総合事業についての説明が難しい
5. ケアマネジャー業務以外の業務量が多い
6. アセスメントのための訪問・面接など
7. サービス担当者会議の開催・調整
8. モニタリングのための訪問・面接など
9. 主治医や医療機関との連絡調整
10. 利用者や事業者の苦情対応
11. 介護報酬請求事務
12. 夜間や休日の相談対応
13. 自己研鑽や情報収集の時間がないこと
14. その他（ ）
15. 特に負担に感じることはない

介護保険サービスについて

問 10 栗東市で特に不足していると思われる介護保険サービスは何ですか？（○はいくつでも可）

1. 訪問介護	← 居宅 サー ビス ←	13. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	← 地 域 密 着 型 サ ー ビ ス ←
2. 訪問入浴介護		14. 夜間対応型訪問介護	
3. 訪問看護		15. 認知症対応型通所介護	
4. 訪問リハビリテーション		16. 小規模多機能型居宅介護	
5. 居宅療養管理指導		17. 看護小規模多機能型居宅介護	
6. 通所介護		18. 認知症対応型共同生活介護	
7. 通所リハビリテーション		19. 地域密着型特定施設入居者生活介護	
8. 短期入所生活介護		20. 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	
9. 短期入所療養介護		21. 介護老人福祉施設	← 施 設 サ ー ビ ス ←
10. 特定施設入居者生活介護		22. 介護老人保健施設	
11. 福祉用具貸与・特定福祉用具販売		23. 介護療養型医療施設	
12. 居宅介護支援		24. 介護保険以外のサービス	← そ の 他 ←
		25. その他（ ）	

認知症施策について

問 11 「認知症の人の本人らしい暮らしの実現、または維持」のための、ケアプラン作成が困難であるとの声があります。その原因はどのようなことだと考えますか。（当てはまるものすべてに○）

1. 本人の意向（希望・やりがい・強み・趣味等）の把握がむずかしい
2. 本人・家族で、ケアプランの意向が異なる
3. 本人の理解が得られない
4. 支援者（医療機関・サービス提供事業所・地域住民等）の理解が得られない
5. 現状のフォーマルサービス（認知症施策事業や介護保険サービス等）では実現できない
6. インフォーマル資源（居場所・趣味活動支援・移動支援等）がない、または知らない
7. その他（ ）

問 12 認知症の家族より、在宅での認知症の人への接し方について相談をされたとき、対応に困ることはありますか。（○は1つ）

1. はい
2. いいえ
3. 相談されることがない

問12-1 問12で「1. はい」と回答した方にお聞きします。

相談の対応についてどのような支援や仕組みがあると良いと思いますか。自由に記載ください。

問12-2 問12で「2. いいえ」と回答した方にお聞きします。

どのように対応をしていますか。自由に記載ください。

【ここから再び全員に伺います】

問13 認知症の人・家族への支援に活用しているもの、連携している関係団体等は何ですか。
(当てはまるものすべてに○)

- 1. 医療機関受診連絡票
- 2. 認知症あんしんガイドBOOK（認知症ケアパス）
- 3. 未来ノート
- 4. オレンジヘルプカード
- 5. 認知症初期集中支援事業
- 6. 認知症高齢者等事前登録事業・認知症高齢者等個人賠償責任保険事業
- 7. 位置情報システム助成事業
- 8. 地域包括支援センター（認知症地域支援推進員含む）
- 9. 認知症カフェ
- 10. 介護者の会・認知症家族の会
- 11. サロン等住民活動団体
- 12. 民生委員児童委員
- 13. 近隣住民
- 14. 地元企業

問14 より活用・連携しやすくなるためにはどのようなことが必要だと思いますか。

自由に記載ください。

問 15 認知症になつたら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人が個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方を、国は「新しい認知症観」と呼んでいます。「新しい認知症観」を進めていくうえで、市はどのようなことに重点を置くべきだと思いますか。（3つまで○）

1. 介護や生活など、困ったことを気軽に相談できる体制づくり
2. 早期発見・早期支援のための相談体制の整備
3. 医療・介護従事者向け研修
4. 行方不明高齢者の早期発見の仕組みづくり
5. 認知症の正しい知識や理解を深めるための啓発
6. 認知症になつても継続的に参加・交流できる機会の確保（趣味・サロンなど）
7. 認知症家族の交流会や相談会などの機会の確保
8. 成年後見制度の利用促進などによる認知症の人の権利利益の保護
9. 認知症グループホームなどの整備
10. その他（ ）

在宅医療について

問 16 あなたが栗東市内で担当している利用者のうち、往診や訪問診療が必要と思われる方は何人いますか。（○は1つ）

1. いる（ 人）

2. いない

問 16-1 問 16 で「1. いる」と回答した方にお聞きします。

必要としている方に対して、往診や訪問診療が行われていますか。（○は1つ）

1. 十分に行われている
 2. ある程度行われている
 3. あまり行われていない
 4. 全く行われていない
- （理由： ）

【ここから再び全員に伺います】

問 17 現在担当している本人や家族に、看取りについて話をしたことがありますか。（在宅・病院は問いません）（○は1つ）

1. はい

2. いいえ

問 17-1 問 17 について話をしたことがある人数は、担当している利用者のうち何割くらいですか。

（数字を記入）

（ ）割

【ここから再び全員に伺います】

問18 この1年間で、あなたが栗東市内で担当している利用者のうち、人生の最終段階において、本人が人生の最期として望んでいる場所を把握した上で、看取り支援を行えた人数（最終亡くなった場所は問わない）を教えてください。

() 人

問19 看取り期における支援をする際にケアマネジャーとして困難に感じていることは何ですか。
(○はいくつでも可)

1. 死や看取りについて話題を切り出しにくい
2. 本人の意向確認のタイミングに迷う
3. 本人の意向と家族の意見が一致しない場合の対応
4. 家族への心理的支援が負担
5. 医療機関との連携
6. 支援者とのタイムリーな情報共有や調整
7. 本人の状態が変化する中での迅速なサービス提供の調整（他のCM業務への負担増）
8. 看取りや緩和ケアについての理解が不足している家族への説明が難しい
9. 本人の看取りに向けた病状の見通しが持ちにくい
10. 自身の知識不足（看取りの知識・ノウハウ不足）より不安がある
11. 本人の意向確認や接し方などの技術的なところが分からぬ
12. 多職種での関わりが増えることで役割分担が曖昧になる
13. その他 ()

問20 ケアマネジャーとして看取り期の支援を行うにあたり、どのようなことがあれば役立つと思いますか？
(3つまで○)

1. 本人への声かけ、接し方等技術的支援を学ぶ機会がある
2. 家族への心理的支援のスキル向上
3. 看取りの知識や病状の変化等見通しのイメージができる
4. 多職種で具体的な事例を共有する場がある
5. 看取りに関する一般的な対応等のマニュアルがある
6. 他職種との連携を深めるための情報共有のツールがある
7. 訪問診療や往診をしてくれる医師の情報
8. その他 ()

問21 この1年間で、あなたが栗東市内で担当している利用者のうち、口腔ケアに関連する課題（例えば、誤嚥予防、栄養摂取改善、嚥下咀嚼機能の向上等）より、ケアプランに口腔ケアが含まれるサービスや目標を設定した利用者の人数を教えてください。

() 人

栗東市の高齢者施策全般について

問 22 高齢者が在宅生活を続ける上で、現在または今後、介護保険サービス以外に必要と感じるサービスは何ですか。（○はいくつでも可）

- | | |
|--------------------------|---------------|
| 1. 外出支援（買物・通院） | 5. 見守りや声掛け |
| 2. 調理支援 | 6. 話し相手 |
| 3. 掃除支援 | 7. その他（ ） |
| 4. ゴミ出し、重い物の運搬、電球交換などの支援 | 8. 特にない・わからない |

問 23 今後、ケアマネジャー業務をする中でどういった研修が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 医療知識を得るための研修 | 9. ケアマネジャーの実務関連の研修 |
| 2. 認知症に関する最新の動向を学ぶための研修 | 10. 医療保険制度の知識を得るための研修 |
| 3. 認知症対応を学ぶための研修 | 11. 暮らしとお金（医療費・年金など）の研修 |
| 4. 精神疾患を理解するための研修 | 12. 権利擁護（成年後見・虐待など）の研修 |
| 5. 困難事例への対応を学ぶ研修 | 13. ACP や看取り期の対応、支援を学ぶ研修 |
| 6. スーパービジョンを学ぶ研修 | 14. その他（ ） |
| 7. 障がい福祉の知識を得るための研修 | 15. 特にない |
| 8. 介護保険制度の最新情報を得るための研修 | |

地域包括支援センターについて

問 24 高齢者が住み慣れた地域で住み続けられるために地域包括支援センターが果たす役割で機能強化して欲しいことはなんですか？（○はいくつでも可）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 困難事例への支援 | 6. 情報提供の充実 |
| 2. 多問題を抱える家族の支援の充実 | 7. 身近な地域での相談の機会の充実 |
| 3. 民生委員・児童委員との連携 | 8. 地域の住民による自助・互助の醸成 |
| 4. 医療と介護の連携強化に向けた支援 | 9. 研修会の開催 |
| 5. 地域ケア会議の活性化 | 10. その他（ ） |

栗東市の高齢者福祉や介護保険事業についてのご意見・ご要望

問 25 栗東市の高齢者福祉や介護保険事業などについて、ご意見がありましたら、ご自由にお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。